

南蛮見聞録

安土桃山時代から江戸時代初期、つまり16世紀後半から17世紀前半は世界史の上でも、日本史の上でも最もダイナミックな時代である。鉄砲とキリスト教に代表される西洋文物とわが国の文化とが接触し、日本文化の中で新たな潮流が生まれたのもこの時代である。本展では、この時代を特徴づけるものとして南蛮屏風、世界地図屏風、初期洋風画の三つのジャンルを取上げる。それぞれのテーマにおいて名品・逸品資料を選択し、各テーマの展開をたどりつつ、今日的テーマでもある激動の時代における東西文化交流と日本人の世界観の変容を探った。

会期／平成4年2月8日（土）～3月22日（日）

会場／南蛮美術館室、特別展示室1・2

主催／神戸市立博物館、朝日新聞社

開館日数／38日

入館者数／15, 730人

出品件数／54件



※この図録は完売いたしました。



泰西王侯騎馬図屏風